

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援 ロバの子ハウス			
○保護者評価実施期間	令和6年8月1日		～	令和6年8月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0名	(回答者数)	0名
○従業者評価実施期間	令和6年8月1日		～	令和6年8月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年8月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	現状、児童発達支援は通所者0名ではあるが、安心感をもち児童が楽しみにして通所して頂けるようにする。	放課後デイサービス同様、毎月のミーティングを行い、毎月のイベント企画を立て行うようにする。	イベントに関してはマンネリ化がないようにしていこうと考えている。
2	児童発達支援の提供すべき支援に関して、適切に設定し提供している。	支援に必要な項目は適切に設定できている。 現状、具体性に関しても問題は見受けられないが、適切であるか内容に問題がないか定期的に見直している。	他の事業所でも支援計画は立てているので参考にし、より良い支援が出来るよう改善点が見受けられる場合は見直しを行うようにしている。
3	環境を常に整え、体制整備に関して最低限の職員配置数以上に置くようにしている。	子供たちの活動スペースを出来る限り広く確保できるよう、整理整頓は勿論のこと子供たちに目配りができる場所に事務スペースを確保している。	子供の通所人数が増えた場合に備え、スタッフの増員が出来るよう各方面に声掛けを行っている。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会。きょうだい同士の交流の機会が設けられていない。	参加出来ない家庭、出来る家庭の日程調整が難しい。	保護者同士の交流の機会がもてていないので、保護者参加及び子供が全員参加出来るよう調整していきたいと考えている。
2	定期的にホームページの更新が出来ていないので改善する必要がある。	日々の活動の様子に関してプライバシーの問題がある。 ホームページに日々の活動を掲載する項目がない。	基本情報の項目しかないなので、日々の活動を掲載していけるようにしなければならない。 プライバシーの問題をクリア出来るよう写真の加工や掲載許可を取っていく必要がある。
3	事業所で家族等も参加できる研修会の機会等が行われていない。	ご家族様の負担にならないようにする為の日程の調整が難しい。	研修会が開催できるよう、ロバの子ハウスと保護者様で日時の調整を行い、全ての保護者様が参加できるようにと考えている。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援 ロバの子ハウス

公表日 令和6年8月31日

令和6年8月31日現在
回収数 在籍数0名

利用児童数 令和6年8月31日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	0	0	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	0	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	0	0	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	0	0	0	0		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	0	0	0	0		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	0	0	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	0	0	0	0		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	0	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	0	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	0	0	0	0		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0	0	0	0		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	0	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	0	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0	0	0	0		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	0	0	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	0	0	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	0	0	0	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0	0	0	0		
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	0	0	0	0		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	0	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	0	0	0	0		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	0	0	0	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	0	0	0	0		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0	0	0	0		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	0	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	0	0	0	0		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	0	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	0	0	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	0	0	0	0		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援 ロバの子ハウス		令和6年8月31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	定員数に対し、広いスペースである。	1日あたりの定員数がオーバーするようであれば、別施設を設立する必要がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	放課後デイの方でも児童2名に対しスタッフが1名在中している。	場合によってはスタッフの在籍数を増員する必要がある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	児童にも理解できるようトイレなど表示している。	施設が3階の為、足の不自由な児童に対応すべく新たな設備を導入する必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	毎日、清掃し児童が怪我をしないよう不要な物は置かないようにしている。	若年層にも対応した空間を作る必要がある。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	不安定な状態になられた時は別階層の部屋を使用できる。	別階層になる為、スタッフが専属で必要になる為、増員が必要である。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	毎月、スタッフを集めミーティングを行い児童の目標について話し合うようにする。	必ずしもスタッフが全員参加できる訳ではないが出来る限り全員参加出来る日程を組む必要がある。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	モニタリング時、児童発達支援での希望や改善点をお聞きするようにする。	デイサービスでもある事ではあるが家庭環境により時間の融通が利かない事があるので夜間でも対応を善処する。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	業務改善の6の項目と同じくミーティング時、議題に上げている。	全ての意見を取り入れていく事は難しいが善処できるようにしていきたいと考えている。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8	0	外部業者からのzoom面談を行い指摘や改善点をお聞きしているので、児童を受け入れる際には取り入れていきたい。	お声掛け頂いた全ての方々に対応することが難しいので、時間の余裕がもてるようにしていきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	研修の機会があれば、参加できるよう人員の確保には心がけている。	研修日に人員の余裕がないので見送りとなってしまう。増員が必要。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	フォーマットの項目に従い、適切に行っている。	時間に追われ、最低限の事しかできないので、書類提出の効率化を図る。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	デイサービスでは行っている。児童発達支援に入所される事を見越してフォーマットは作成している。	周知徹底できるよう、全体で共有する必要がある。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	受入れの際には管理者も含めスタッフと共に作成するよう尽力する。	最善の利益を考慮した検討はしているが、それを達成できない事もあるので、検討を重ねて達成できる様にしたい。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	デイの全体LINEを使用し計画を共有する。	計画通りにはいかない事が多々、起こるとは思うができる限りの支援はしていきたい。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	当施設で作成した物で確認する。	標準化されたツールの使用も視野に入れ、より良い方を取り入れる。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	児童発達支援ガイドラインに沿って支援内容を設定している。	支援内容の変更があれば、更新し内容を精査する。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	ミーティングで立案し全体で行なっている。	他事業所の活動プログラムも視野に入れ新たな事も取り入れていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	様々な事に取り組むようにはしている。	マンネリ化しないよう、新たなプログラムを更新していく必要がある。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	個別でしかできない子供もおられるので出来る限り集団活動が出来るよう計画し支援していく。	集団活動に関して全員で取り組みができる企画を立案していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	始業時間やスタッフが異なるので前日に打ち合わせ、申し送りをする。当日も変更等があればLINEで共有していく。	スタッフ全員、出勤時間を統一できるように勤務時間の改定が必要である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	適切な支援の提供20と同様。	適切な支援の提供20と同様。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	改善が必要と見受けられた場合には即日スタッフ全体で話し合い改善策を見出していく。	現状問題は無いと思われるが記録の項目を増やす事も視野に入れる必要がある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	児童発達支援の児童は現在0名ではあるが、受け入れた際、見直しが必要であれば改善していく。	保護者の意見を尊重しつつ子供の意見も踏まえ最善の計画を立てる必要がある。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	選任された者が参画している。	選任者以外にも、会議に参加できるようにしていきたいと考えている。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	専属の医療機関があり、教育関係者とも連携し支援できる。	他の関係機関と関係性を持ち、支援の向上化を行う。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	現在、児童発達支援の在籍は0名ではあるが、デイサービスの方では支援学校の会議に参加するなどし情報共有を行なっている。	支援の向上を図る為、情報共有ができる機会があれば積極的に参加する。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	デイサービスでは行えているが、今後、児童発達支援の就学時移行の際には情報共有と相互理解が図れるようにする。	左記に同じく今後、就学時移行の際には情報共有と相互理解が図れるようにする。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	8	現在、児童発達支援センターとの連携を今の所、取っていない。	今後、助言を頂く為、児童発達支援センターと連携をとっていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	デイサービスではキリスト教会の子供達と触れ合う機会がある。	児童が入所した際には同じくふれあいを大切にする。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	デイサービスでは共通理解ができている。児童発達支援でも共通理解を持てるようにする。	100%の共通理解は難しいと思うが、近づくよう善処する。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	8	情報提供は行っていない。	研修の機会や情報提供を行っていく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	フォーマットの項目に従い、適切に行っている。	規定やプログラムに変更点があった場合は、その都度説明を行う必要がある。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	デイサービスでは行っているため、児童発達支援の児童を受け入れた際には同様に機会を設ける。	児童と保護者の意向が違う場合があると思われるが、最善の方向性が示せるよう知識の構築が必要である。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	デイサービスでは行っている。今後児童発達支援の児童が入所する際には同じく同意が得られるようにする。	支援内容に関して、不備が無いよう作成はしているが保護者様の考えは千差万別なので、オールマイティな支援計画の作成が必要。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	デイサービスでは行えている。児童発達支援でも支援を行う。	必要に応じて、昼夜問わず対応できるインフラ整備が必要である。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	8	デイサービスでも行えていないのが現状。	親子で参加できる家庭と、出来ない家庭があるので課題が多いが検討に検討を重ねる。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	デイサービスでは相談、申し入れ等はスタッフ間でも共有できるようにしているので迅速に対応できる。	夜間対応も出来るよう、善処する。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	紙媒体が基本ではあるが、モバイルを活用した取り組みも行っている。	SNSではなく紙媒体や通話のみしか対応不可の家庭の対応を考える。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	個人情報に関して同意書に署名して頂き、内容の通り遂行している。	データ管理している部分もあるので、より良いセキュリティ対策を検討していきたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	相談支援員の方が間に入る等の配慮を行っている。	当デイサービスだけでも対応できるようにしていく必要がある。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8	行なえていない。	地域の方々との企画を立てる必要がある。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	入所時にマニュアルの説明をし、周知できる用意はしている。	新たな感染症が発生した際、迅速にマニュアル化できるよう医師との常日頃の連携が必要である。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	月、1回避難訓練を行っている。	日時が合わず参加出来なかった子供の為に専属で対応できるスタッフの増員が必要である。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	入所時に保護者様に確認してファイルし保管している。日々の服薬等に関しては確認。	薬剤によっては様々な体調の変化などがみられるので医療知識を高める。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	アレルギーに関してスタッフ全体で周知徹底している。	新たにアレルギーが発生する場合もあるので、保護者にも検査は定期的に行って頂く必要がある。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	毎月、安全面に関してもミーティングを行い追加事項があれば追加している。	講習会があれば積極的に参加するようにする。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	安全面に関してマニュアルを基にし、ご家族様に周知して頂けるよう用意している。	子供達にも口頭だけでなく、理解して頂くために分かりやすいマニュアルの作成をする必要がある。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	ミーティング時に危険を感じた事など話し合い対策を取るようにしている。	予期せぬ事故も起こりうると考えられるので、事故防止のためより多くの予測を立てる必要がある。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	虐待防止について知識を常日頃高め、適切な対応を行っている。	事業所内だけでなく各ご家庭でも虐待が起こらないよう家庭との連携を深める。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	入所時に保護者に説明し理解して頂いている。	身体拘束となる入所者の前例が当デイサービスでは無いので、事体に備えミーティングを行う必要がある。